

## 平成17年度 活動のご報告

セブン-イレブンみどりの基金の平成17年度の収入は、おかげさまで店頭募金3億2011万9382円、セブン-イレブン本部からの寄付金8117万8016円、その他の収入506万2863円、繰越金4709万8360円を合わせ、合計4億5345万8621円となりました。

また、支出は事業費2億4051万2343円、管理費5956万9465円を合わせ、支出合計は3億0008万1808円となり、お客様からの募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、“環境”をテーマに活動している環境市民団体への支援活動や自然環境の保護・保全事業、地域環境の美化事業、広報事業を行いました。また、平成17年3月の福岡県西方沖地震、8月の米国ハリケーン・カトリーナ災害、9月の台風14号災害、10月のパキスタン地震災害に対しては、全国のセブン-イレブン店頭で義援金・救援金募金活動を行い、合計1億1379万0403円をお預かりし、それぞれの被災地にお届けいたしました。

平成17年度の主な活動としては、第一に、“環境”をテーマに活動している環境市民団体への支援活動として、店頭でお客様からお預かりした募金を広く環境市民団体に還元するための公募助成制度により、今年度の82団体と昨年からの継続12団体を合わせ、合計94団体に7233万円を助成いたしました。また、平成17年度の公募助成の審査については、外部審査員による審査とし、さらに助成制度の充実を図りました。

地域の環境市民団体の支援を目指す地域支援活動としては、各地域の環境市民団体を支援するための組織を構築することに平行して、環境市民団体に役立つ助成金セミナーを北海道・近畿・東海地域で、また日独ファンドレイジング(資金調達)・シンポジウムを名古屋で開催し、活動資金獲得のための情報提供活動をスタートさせました。

自然環境の保護・保全活動では、北海道霧多布湿原の保護・保全活動として、認定NPO法人霧多布湿原トラストと昨年に引き続き、民有地39haの湿原を取得し、累計で184haを保護・保全し、同団体が取得した139haを合わせた面積323haは、市民団体が自然保護のトラストとして取得した面積としては、日本最大となりました。

また、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」ことを基本理念に、大分県九重町に平成19年春の開校を目指し、自然環境の保護・保全や環境保全型農業体験などを行う「九重ふるさと自然学校(仮称)」の開校準備室を設置し、「トキこども大使」の佐渡派遣や、野生のトキの繁殖に成功させた中国の事例を紹介する「日中トキ・シンポジウム」、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原の「ラムサール条約登録記念の集い」を開催しました。

地域環境美化事業は、昨年に引き続き「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」「カントリー大作戦」「ラブアース・クリーンアップ」「札幌大通公園花壇出展」などを行い、美しい街並みの実現を目指した行動を続けています。

広報事業では、広報誌『みどりの風』と会報『みどりの基金だより』を発刊し、自然環境への意識を高めていただくための新たな広報活動を行いました。

身の回りの環境ボランティア活動から、日本の自然遺産をまもる活動まで、当基金は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店・本部と力を合わせ、より一層の活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開していきたいと考えております。

皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。